

75歳以上の医療費窓口負担2割化実施の中止を求める請願書



紹介議員

~~井上~~ けんじ



請願の趣旨

75歳以上の高齢者の受診抑制・負担増となる医療費窓口負担2割化を中止すること。

請願の理由

2021年6月4日参議院本会議で、75歳以上医療費窓口負担2割化法が可決されました。この法律が実施されると2022年後半から年収200万円以上の人370万人(後期高齢者医療制度加入者の約20%)が2割負担となります。

国会審議の中で、①2割負担導入による現役世代の負担軽減効果はわずか月額約30円であること、②コロナ禍の今、精神的にも経済的にも疲弊している中での高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっているにも関わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること、③国会審議を経ずに2割負担増の対象者を政令によって広げることができることなど、多くの問題点があきらかになりました。

ただでさえ、新型コロナウイルス感染症による高齢者の受診控えが進んでいる中、必要な医療が受けられなくなることを前提にした負担増は高齢者のいのち・健康権・人権の侵害です。応能負担を窓口一部負担にもとめるのではなく、富裕層や大企業に求めるべきです。強制加入の社会保険では、必要な給付は、保険料だけでなく、公的負担と事業主負担で保障すべきです。先進国では、医療費の窓口負担は無料が当たり前です。

75歳以上医療費窓口負担2割化は、高齢者の暮らし、いのち、健康、人権を守る上で大きな影響を及ぼします。

2021年8月13日

京都府後期高齢者医療広域連合議会議長

下村 あきら 様

請願者 住所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都6F
氏名 京都社会保障推進協議会議長 渡邊 賢

